

四国沿岸から初めて記録されたヒメウツボ
First record of Dwarf Moray, *Gymnothorax melatremus* (Muraenidae:
Anguilliformes) from Shikoku

By

小枝圭太

Keita KOEDA

黒潮生物研究所 〒788-0333 高知県幡多郡大月町西泊 560 イ
Kuroshio Biological Research Foundation, 560 Nishidomari, Otsuki, Hata, Kochi 788-0333, Japan

Abstract The genus *Gymnothorax* Bloch, 1795, a highly speciose group belonging to the family Muraenidae. A single specimen (175.9 mm TL) of Dwarf Moray *Gymnothorax melatremus* Schultz, 1953 was current collected from off Okino-shima Island, Sukumo, Kochi, southwestern Shikoku. This species can be distinguished from its congeners by having jaws not ached, closing completely, body uniformly bright yellow, dark brown blotch on upper and lower pupil, and a black blotch on gill opening. This species has previously recorded from Hachijo-jima Island, Ogasawara Islands, Kushimoto at Wakayama, and the Ryukyu Archipelago. The present specimen represents the first record of the species from Shikoku.

キーワード:ウナギ目・ウツボ科・高知県・沖の島・四国初記録

はじめに

ウツボ科ウツボ属は世界中の熱帯から温帯域に広く分布する(波戸岡 2018)。日本からは 38 種が報告されており(波戸岡 2013a; 田代ほか 2014; 小枝・秋田 2017)、その多くは南日本沿岸域から琉球列島や小笠原諸島に分布している(波戸岡 2013a)。ウツボ属は吻端に位置する前鼻孔に円筒形の鼻管をもつ、尾部長が臀鰭前長とほぼ同じであるなどの特徴をもつ(Smith and Böhlke 1997)。2020 年 8 月 6 日に高知県宿毛市沖の島沖の水深約 25 m において 1 個体のウツボ属ヒメウツボ *Gymnothorax melatremus* Schultz, 1953 を採集した。本種はこれまで日本国内において八丈島、小笠原諸島、和歌山県串本および琉球列島から記録されている(波戸岡 2013a)。沖の島から得られた標本は、四国沿岸域からの初めての記録となるため、ここに報告する。

方法と材料

標本の計測・計数方法は Böhle (1989) にしたがった。全長 (total length: TL) および各形質の計測はノギスを用いて 0.1 mm 単位でおこなった。計測値は全長あるいは頭長に対する百分率 (%) で示した。生鮮時の色彩の記載は、固定前に撮影された標本のカラー写真に基づいた。本報告に用いた標本は、黒潮生物研究所 (KBF) に保管されており、上記の生鮮時の写真は同研究所のデータベースに登録されている。

結果

Gymnothorax melatremus Schultz, 1953

ヒメウツボ (Figs. 1, 2)

標本 KBF-I 1259、175.9 mm TL、高知県宿毛市沖の島沖 (32° 45' 13 N, 132° 32' 59 E)、水深 25 m、2020 年 8 月 6 日、手網、小枝圭太。

記載 背鰭前脊椎骨数 3; 肛門前脊椎骨数 46; 総脊椎骨数 133。体各部測定値の TL に対する割合 (%) : 頭長 10.6; 肛門前長 37.7; 体躯長 27.0; 尾部長 54.6; 背鰭前長 7.7; 鰓孔における体高 6.2; 肛門における体高 5.2; 鰓孔における体幅 2.4; 肛門における体幅 2.2。頭部各部計測値の頭長に対する割合 (%) : 吻長 19.1; 眼径 11.2; 上顎長 36.7; 下顎長 33.5; 鰓孔長 5.3; 両眼間隔 11.7。

体はよく側扁し、伸長する。軀幹部および尾部の体高はほぼ一樣だが、肛門から尾端部にかけて緩やかに低くなる。吻端に位置する前鼻孔は円筒形の鼻管をもつ。眼の前上方に位置する後鼻孔は円形。吻はやや尖る。眼は円形で、口裂の中央付近に位置する。口は大きく、両顎は湾曲せず、完全に閉じられる。前鼻孔の真上その後方に眼上感覚孔が 1 つずつある。吻端から眼の後下方に眼下感覚管孔が等間隔で 5 つ並ぶ。下顎上には下顎感覚管孔が等間隔で 6 つ並ぶ。頭部側線感覚孔は 2 つ。背鰭は鰓孔のかなり前方から始まる。肛門は体の中央よりやや前方に位置する。背鰭は鰓孔の上方よりもやや前方から始まり、臀鰭は肛門の直後から始まる。背鰭と臀鰭はやや低く、その基底は長い。尾鰭は垂直鰭と連続する。生鮮時の色彩 体と鰭は一樣に鮮黄色で、鰓孔は黒い。虹彩は淡桃色で、瞳の上下に瞳と同大の茶褐色斑がある。背鰭と臀鰭は一樣に鮮黄色だが、微端部では半透明。



Figure 1. Fresh specimen of *Gymnothorax melatremus* (KBF-I 1259, 175.9 mm TL) collected from off Okino-shima Island, Kochi, Japan.



Figure 2. Head of *Gymnothorax melatremus* (KBF-I 1259, 175.9 mm TL) collected from off Okino-shima Island, Kochi, Japan.

分布 本種はインド・太平洋にかけて広く分布する(波戸岡 2013a, 2018)。日本国内では八丈島、小笠原諸島、和歌山県串本、鹿児島県硫黄島、種子島、屋久島、口永良部島、奄美大島、徳之島、沖永良部島、沖縄諸島以南の琉球列島から記録されていたが(波戸岡 2013ab; 木村ほか 2017; Nakae et al. 2018; Mochida and Motomura 2018; 日比野 2019; Motomura and Uehara 2020)、本研究により高知県沖の島からも確認された。

備考 高知県沖の島から得られた標本は、瞳の上下に瞳と同大の茶褐色斑がある、鰓孔が黒いといった特徴が波戸岡ほか(1998)や Chen et al.(1994)、波戸岡(2013ab)の示した *Gymnothorax melatremus* の特徴によく一致した。ビキニ環礁から得られた標本に基づき本種を記載した Schultz (1953) は、本種の完模式標本の体色を明るい茶色と表現している。本種においては、生時あるいは新鮮な標本では黄色が鮮やかであることが示されていることから(波戸岡ほか 1998)、今回えられた標本と完模式標本の色彩の違いは鮮度の違いによるものと考えられる。なお、本種の完模式標本の総脊椎骨数は 137 であり(Böhlke 1982)、今回得られた標本 133 と近い値を示した。本種は波戸岡ほか(1998)により伊豆諸島八丈島産の標本に基づき日本で初めて報告された。この報告では、八丈島のほか慶良間諸島の嘉比島および阿嘉島において撮影された水中写真も示された。その後、本種は琉球列島や和歌山県串本から報告されたもの(波戸岡 2013ab; 木村ほか 2017; Nakae et al. 2018; Mochida and Motomura 2018; 日比野 2019; Motomura and Uehara 2020)、いずれも散発的な記録にとどまり、また四国沿岸域からの報告例はない。このことから、高知県沖の島から得られた標本は四国沿岸からの初めての記録となる。

謝辞

本研究をおこなうにあたり、多大なるご支援を賜ったパシフィックマリンの森田輝男氏、川田規美代氏、黒潮生物研究所理事長の深田純子氏、ステラケミファ株式会社の橋本亜希氏、有限会社ブルーハーバーの和田康嗣氏ならびに黒潮生物研究所の目崎拓真氏、戸篠 祥氏、古井戸 樹氏、喜多村鷹也氏、山下 薫氏、長岡知香氏に謹んで感謝の意を表す。本研究の一部は 2020 年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けておこなわれた。

引用文献

- Böhlke, E.B. (1982) Vertebral formulae for type specimens of eels (Pisces: Anguilliformes). *Proceedings of the Academy of Natural Sciences of Philadelphia*, 134: 31–49.
- Böhlke, E.B. (1989) Methods and terminology. Pp. 1–7. In: Böhlke, E.B. (Ed.) *Fishes of the western north Atlantic. Volume one: orders Anguilliformes and Saccopharyngiformes. Memoirs of the Sears Foundation of Marine Research*. Allen Press, Kansas, U.S.A.
- Chen, H.-M., Shao, K.T. and Chen, C.-T. (1994) A review of the muraenid eels (family

- Muraenidae) from Taiwan with descriptions of twelve new records. *Zoological Studies*, 33 (1): 44–64.
- 波戸岡清峰 (2013a) ウツボ科. Pp. 244–261. *In*: 中坊徹次 (編), 日本産魚類検索, 全種の同定 第3版. 東海大学出版会, 秦野.
- 波戸岡清峰 (2013b) ヒメウツボ. P. 10. *In*: 本村浩之・出羽慎一・古田和彦・松浦啓一 (編), 鹿児島県三島村—硫黄島と竹島の魚類. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島・国立科学博物館, つくば.
- 波戸岡清峰 (2018) ウツボ科. Pp. 66–71. *In*: 中坊徹次 (編), 小学館の図鑑Z 日本魚類館. 小学館, 東京.
- 波戸岡清峰・瀬能 宏・加藤晶一 (1998) ヒメウツボ(新称)の日本からの記録. *I. O. P. Diving News*, 9 (12): 2–5.
- 日比野友亮 (2019) ウツボ科. Pp. 22–27. *In*: 本村浩之・萩原清司・瀬能 宏・中江雅典(編), 奄美群島の魚類図鑑. 南日本新聞開発センター, 鹿児島.
- 木村祐貴・日比野友亮・三木涼平・峯 健・小枝圭太 (2017) 緑の火山島 口永良部島の魚類. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島. 200 pp.
- 小枝圭太・秋田雄一 (2017) 与那国島から採集された日本初記録のウツボ科魚類 *Gymnothorax breedeni* ハチモンジウツボ(新称). *魚類学雑誌*, 64 (1): 31–35.
- Mochida, I. and Motomura, H. (2018) An annotated checklist of marine and freshwater fishes of Tokunoshima island in the Amami Islands, Kagoshima, southern Japan, with 214 new records. *Bulletin of the Kagoshima University Museum*, 10: 1–80.
- Motomura, H. and Uehara, K. (2020) An annotated checklist of marine and freshwater fishes of Okinoerabu Island in the Amami Islands, Kagoshima, southern Japan, with 361 new records. *Bulletin of the Kagoshima University Museum*, 12: 1–125.
- Nakae, M., Motomura, H., Hagiwara, K., Senou, H., Koeda, K., Yoshida, T., Tashiro, S., Jeong, B., Hata, H., Fukui, Y., Fujiwara, K., Yamakawa, T., Aizawa, M., Shinohara, G. and Matsuura, K. (2018) An annotated checklist of fishes of Amami-oshima Island, the Ryukyu Islands, Japan. *Memoirs of National Museum of Nature and Science*, Tokyo, 52: 1–157.
- Schultz, L.P. (1953) Muraenidae. Pp. 98–159. *In*: Schultz, L.P. Herald, E.S., Lachner, E.A., Welander, A.D. and Woods, L.P. (Eds.) *Fishes of the Marshall and Marianas Islands*. Vol. I. Families from Asymmetriontidae through Siganidae. *Bulletin of the United States National Museum*, Washington D.C., U.S.A.
- Smith, M. and E. B. Böhlke. 1997. A review of the Indo-Pacific banded morays of the

Gymnothorax reticularis group, with descriptions of three new species (Pisces, Anguiliformes, Muraenidae). *Proceedings of the Academy of Natural Sciences of Philadelphia*, 148: 177–188.
田代郷国・日比野友亮・本村浩之 (2014) スズランヒメウツボ. Pp. 30–31. In: 本村浩之・松浦啓一 (編), 奄美群島最南端の島ー与論島の魚類. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島・国立科学博物館, つくば.

(2020年10月15日受付;2020年11月24日受理)